

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年7月29日  
東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	42,491	5.6	8,910	32.4	9,293	22.1	6,325	22.4
26年3月期第1四半期	40,226	4.7	6,729	6.1	7,612	17.0	5,170	21.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 6,904百万円( 1.8%) 26年3月期第1四半期 6,780百万円( 80.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	39.42	—
26年3月期第1四半期	31.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	199,598	142,322	70.7
26年3月期	207,999	137,822	65.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 141,050百万円 26年3月期 136,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	14.00	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	3.4	11,300	6.8	11,200	0.7	8,000	0.5	49.85
通期	170,000	3.9	23,500	5.6	24,000	1.2	17,500	4.8	109.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	161,000,000株	26年3月期	161,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	522,114株	26年3月期	522,032株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	160,477,948株	26年3月期1Q	163,741,747株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成26年7月29日(火)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)の国内景気は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動がみられましたが、緩やかな回復傾向が続きました。当社グループの事業につきましては、化学品部門は、メラミン(合板用接着剤原料等)が国際市況下落の影響を受けました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料、半導体材料が好調を維持しました。農業化学品部門は、国内外ともに大きく伸長しました。医薬品部門は、後発医薬品の出現により「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)の国内販売が悪化しました。

この結果、当期間における業績は、売上高424億91百万円(前年同期比22億65百万円増)、営業利益89億10百万円(同21億80百万円増)、四半期純利益63億25百万円(同11億55百万円増)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

#### 化学品部門

基礎化学品では、「アドブルー」(高品位尿素水)は堅調に推移しましたが、メラミンは減収となりました。また、ファインケミカルでは、「テピック」(封止材用等特殊エポキシ)の販売量が円安の後押しを受けて増加しました。

この結果、当部門の売上高は84億77百万円(前年同期比8億52百万円減)、営業利益は9億62百万円(同52百万円減)となりました。

#### 機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、スマートフォンおよびタブレットPC向けが好調を持続しました。また、BARCおよび多層材料は、半導体の微細化進展に伴い需要が拡大しました。「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、電子材料用研磨剤向けが前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は118億43百万円(前年同期比15億92百万円増)、営業利益は33億32百万円(同11億99百万円増)となりました。

#### 農業化学品部門

国内に関しては、「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)および「アルテア」(水稻用除草剤)の販売量が増加しました。また、輸出については、とくに、動物用医薬品原薬フルララネルを含む製品が欧州および米国で上市されたことにより、大幅な増収となりました。

この結果、当部門の売上高は123億35百万円(前年同期比24億33百万円増)、営業利益は39億81百万円(同17億8百万円増)となりました。

#### 医薬品部門

「リバロ」原薬は、米州およびアジアを中心に海外向けは順調に推移しました。国内向けは計画通りの出荷量となりましたが、前年同期比では減収となりました。一方で「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、顧客向けの出荷が順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は24億71百万円(前年同期比5億59百万円減)、営業利益は7億58百万円(同6億4百万円減)となりました。

#### 卸売部門

ディスプレイ材料関連製品等が伸長し、当部門の売上高は141億26百万円(前年同期比14億3百万円増)、営業利益は4億85百万円(同1億12百万円増)となりました。

#### その他の部門

当部門の売上高は38億17百万円(前年同期比7億73百万円減)、営業損失は1億9百万円(同1億92百万円減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比84億1百万円減の1,995億98百万円となりました。

負債合計も有利子負債残高、賞与引当金が減少したことなどから、前連結会計年度末比129億1百万円減の572億75百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比45億0百万円増の1,423億22百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.0ポイント増加し、70.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、65億90百万円の収入(前年同期は41億2百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、研究開発部門などの設備投資を中心に10億13百万円の支出(前年同期は38億91百万円の支出)となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより128億34百万円の支出(前年同期は74億62百万円の支出)となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額44百万円を差引きし、前連結会計年度末に比較して73億2百万円減少し、234億55百万円(前年同期は247億94百万円)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期におきましては、主に機能性材料および農業化学品の売上が当初計画を上回り、第2四半期においても販売がおおむね順調に推移する見通しであることから、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。

また、上記の修正を踏まえ、通期につきましても業績予想を修正いたしました。

## 平成27年3月期第2四半期累計期間連結業績予想 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	77,000	9,600	9,600	6,900	43円00銭
今回発表予想 (B)	79,000	11,300	11,200	8,000	49円85銭
増減額 (B - A)	2,000	1,700	1,600	1,100	—
増減率 (%)	2.6%	17.7%	16.7%	15.9%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	76,401	10,577	11,120	7,961	48円62銭

## 平成27年3月期通期連結業績予想 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	169,000	22,500	23,000	16,900	105円31銭
今回発表予想 (B)	170,000	23,500	24,000	17,500	109円05銭
増減額 (B - A)	1,000	1,000	1,000	600	—
増減率 (%)	0.6%	4.4%	4.3%	3.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	163,658	22,246	23,723	16,701	102円11銭

平成27年3月期 部門別連結売上高および営業利益予想 (単位: 億円)

		前回発表予想		今回発表予想		増減	
		第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期
売 上 高	化学品	172	350	167	345	△ 5	△ 5
	機能性材料	217	448	240	471	23	23
	農業化学品	172	435	176	439	4	4
	医薬品	51	101	50	98	△ 1	△ 3
	卸売	262	536	262	536	—	—
	その他	99	216	88	215	△ 11	△ 1
	調整額	△ 203	△ 396	△ 193	△ 404	10	△ 8
	計	770	1,690	790	1,700	20	10
営 業 利 益	化学品	7	21	3	15	△ 4	△ 6
	機能性材料	43	87	64	107	21	20
	農業化学品	31	81	33	80	2	△ 1
	医薬品	17	35	15	31	△ 2	△ 4
	卸売	7	16	7	16	—	—
	その他	△ 1	4	△ 1	4	—	—
	調整額	△ 8	△ 19	△ 8	△ 18	—	1
	計	96	225	113	235	17	10

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が3億31百万円増加し、利益剰余金が2億13百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,757	23,455
受取手形及び売掛金	54,041	52,423
商品及び製品	26,775	27,139
仕掛品	51	404
原材料及び貯蔵品	6,353	7,472
その他	7,457	6,206
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	125,413	117,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,520	20,010
その他(純額)	25,455	25,896
有形固定資産合計	44,975	45,906
無形固定資産		
のれん	481	323
その他	769	730
無形固定資産合計	1,251	1,054
投資その他の資産		
投資有価証券	33,570	32,448
その他	3,028	3,335
貸倒引当金	△240	△224
投資その他の資産合計	36,358	35,559
固定資産合計	82,585	82,520
資産合計	207,999	199,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,067	15,347
短期借入金	30,645	20,420
未払法人税等	3,512	2,159
賞与引当金	1,754	559
役員賞与引当金	27	6
その他	7,646	7,928
流動負債合計	59,652	46,422
固定負債		
長期借入金	5,450	5,450
退職給付に係る負債	244	248
その他	4,829	5,154
固定負債合計	10,524	10,853
負債合計	70,176	57,275
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	98,121	102,092
自己株式	△698	△699
株主資本合計	129,975	133,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,138	6,504
為替換算調整勘定	20	194
退職給付に係る調整累計額	417	403
その他の包括利益累計額合計	6,576	7,103
少数株主持分	1,269	1,272
純資産合計	137,822	142,322
負債純資産合計	207,999	199,598

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	40,226	42,491
売上原価	24,233	24,201
売上総利益	15,993	18,290
販売費及び一般管理費	9,263	9,380
営業利益	6,729	8,910
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	194	273
持分法による投資利益	305	224
その他	593	158
営業外収益合計	1,098	662
営業外費用		
支払利息	83	77
為替差損	-	117
その他	132	85
営業外費用合計	216	279
経常利益	7,612	9,293
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	7,612	9,293
法人税、住民税及び事業税	1,651	2,232
法人税等調整額	733	703
法人税等合計	2,385	2,936
少数株主損益調整前四半期純利益	5,227	6,357
少数株主利益	56	31
四半期純利益	5,170	6,325

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,227	6,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,369	366
為替換算調整勘定	186	195
退職給付に係る調整額	-	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	1,553	547
四半期包括利益	6,780	6,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,714	6,852
少数株主に係る四半期包括利益	65	52

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,612	9,293
減価償却費	1,920	1,788
受取利息及び受取配当金	△199	△278
支払利息	83	77
固定資産処分損益(△は益)	33	33
売上債権の増減額(△は増加)	462	1,673
たな卸資産の増減額(△は増加)	△458	△1,802
仕入債務の増減額(△は減少)	△976	△675
その他	△1,170	△230
小計	7,306	9,878
利息及び配当金の受取額	525	278
利息の支払額	△39	△37
法人税等の支払額	△3,690	△3,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,102	6,590
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△6	△1,210
投資有価証券の売却による収入	244	3,025
関係会社株式の取得による支出	△2,743	-
有形固定資産の取得による支出	△1,434	△2,587
有形固定資産の除却による支出	△20	△31
短期貸付金の純増減額(△は増加)	124	△136
その他	△55	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,891	△1,013
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,110	△10,204
配当金の支払額	△2,292	△2,567
少数株主への配当金の支払額	△48	△50
その他	△12	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,462	△12,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	167	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,084	△7,302
現金及び現金同等物の期首残高	31,878	30,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,794	23,455

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## 1) 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,101	8,904	8,852	3,022	10,065	2,279	40,226	—	40,226
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,228	1,346	1,049	7	2,657	2,311	9,601	△9,601	—
計	9,329	10,251	9,901	3,030	12,723	4,591	49,827	△9,601	40,226
セグメント利益 (営業利益)	1,015	2,133	2,272	1,362	373	82	7,240	△510	6,729

(注) 1. セグメント利益の調整額△510百万円には、セグメント間取引消去△114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2) 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,102	10,410	11,499	2,471	10,215	1,792	42,491	—	42,491
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,374	1,433	835	—	3,910	2,025	10,580	△10,580	—
計	8,477	11,843	12,335	2,471	14,126	3,817	53,072	△10,580	42,491
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	962	3,332	3,981	758	485	△109	9,411	△500	8,910

(注) 1. セグメント利益の調整額△500百万円には、セグメント間取引消去△60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△440百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年10月1日付の組織改訂に伴い、前第3四半期連結会計期間より化学品事業に属していたファインテックを医薬品事業に編入しました。

前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、セグメント区分変更後の数値に置き換えて表示しております。

なお、変更後の各報告セグメントの主要製品は以下の通りです。

報告セグメント	主要製品・分野
化学品事業	基礎化学品（メラミン、硫酸、硝酸、アンモニア等） ファインケミカル（封止材用等特殊エポキシ、難燃剤、殺菌消毒剤等）
機能性材料事業	ディスプレイ材料（液晶表示用材料ポリイミド等） 半導体材料（半導体用反射防止コーティング材等） 無機コロイド（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）
農業化学品事業	農薬（除草剤、殺虫剤、殺菌剤、殺虫殺菌剤、植物成長調整剤） 動物用医薬品原薬
医薬品事業	高コレステロール血症治療薬原薬 ファインテック（医薬品研究開発参加型事業）
卸売事業	卸売等
その他の事業	肥料（高度化成等）、造園緑化、環境調査、運送、 プラントエンジニアリング等